

千葉大学医学部附属病院に神経・筋疾患あるいはその疑いとしてされた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年7月13日

脳神経内科

脳神経内科では、神経・筋疾患の自然史に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

1990年1月1日～2026年倫理委員会承認日前日の間に当院脳神経内科を受診され、神経・筋疾患と診断された方および疑いの方

1. 研究課題名

「神経・筋疾患の自然史に関する観察研究」

2. 研究期間

2026年承認日～2031年3月31日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

神経・筋疾患の診断手法や治療法の開発が、機能や生命にどのような影響を与えているか、検討します。具体的には、以下の疾患の患者およびその疑い患者が対象となります。末梢神経疾患（糖尿病性ニューロパチー、アルコール性神経障害、ビタミン欠乏症、アミロイドーシス、慢性炎症性脱髄性ニューロパチー、ギラン・バレー症候群、多巣性運動ニューロパチー、抗 MAG 抗体陽性ニューロパチー、シャルコー・マリー・トゥース病、遺伝性運動性ニューロパチー、POEMS 症候群、神経核内封体病等）、前角疾患（筋萎縮性側索硬化症、球脊髄性筋萎縮症、脊髄性筋萎縮症、痙性対麻痺等）、筋疾患（筋ジストロフィー、ミオパチー、封入体筋炎、多発筋炎等）等が対象です。患者背景や臨床症状、検査所見等を網羅的に解析します。これらが機能予後や生命予後にどのように影響するかを、調査します。また、受診時期や検査手法や治療法導入前後で、こられがどの

ように変化したかについても探索的に検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている診察所見、自覚症状、身体機能、機能評価スケール点数、死亡年月日、肺活量、心電図、超音波検査、神経伝導検査、筋電図、経頭蓋磁気刺激検査、体性感覚誘発電位検査、軸索興奮性検査所見、レントゲン、CT、MRI、核医学検査所見、病理学的所見、血液検査、血液ガス検査、脳脊髄液検査所見、伝学的検査所見等を対象とします。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：脳神経内科 助教 澁谷和幹

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院脳神経内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。
試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

脳神経内科 助教 澁谷和幹

043（222）7171 内線5414